

教育相談室だより

令和2年9月9日
新居浜西高等学校
教育支援課

全校の皆さん、今年の運動会はどうでしたか。今年は仮装などがなくなり短縮されましたが、制約のある中で大いに盛り上がった運動会だったのではないのでしょうか。また、グループの運営にかかわった人、役割や担当の仕事に取り組んだ人などを中心に、生徒同士が学年の枠を越えて限られた時間の中でどうすればうまくいくか話し合ったり、計画や実行する良い経験になったと思います。今年度は多くの行事が削減され、また、学びの形も大きく変わっています。コロナ感染拡大による社会不安も広がっている中で、勉強の不安に加えて、そうした不安にどう対処したらいいのでしょうか。以下は日本赤十字社が公開しているコロナウイルス感染不安に振り回されないための3つの力です。

気づく力：自分自身をいろいろな角度から観察してみる。(考え方、気持ち、ふるまいなど)
聴く力：いつもと違う所はありませんか。普段と変わらず続けられることはないですか。
自分を支える力：今自分ができることを認める。今の状況だからこそできることに取り組んでみる。安心できる相手とつながる。

この3つの力を高めることが、さらに感染症への恐怖や、差別・偏見にも振り回されないことにつながるそうです。みなさんの抱える不安にも参考になるのではないのでしょうか。

7月に全校生徒を対象に「悩みの調査」を実施しました。その結果を学年別に紹介します。

悩みの調査 (令和2年7月実施)

1年生 (人数 280人)

1位	「希望通り、進学・就職できるか不安である。」	38%
2位	「自分がどんな職業に適しているか分からない。」	32%
3位	「ふだんでも、起きた時に疲れた感じがする。」	29%
4位	「気が散って勉強に集中できない。」	24%
5位	「勉強の仕方が分からない。」	23%

2年生 (人数 251人)

1位	「希望通り進学・就職できるか不安である。」	37%
2位	「自分がどんな職業に適しているのか分からない。」	28%
3位	「ふだんでも、起きた時に疲れた感じがする。」	27%
4位	「気が散って勉強に集中できない。」	26%
5位	「失敗しないかと心配ばかりしている。」	22%

3年生 (人数 262人)

1位	「希望通り進学・就職できるか不安である。」	29%
2位	「ふだんでも、起きたときに疲れた感じがする。」	18%
3位	「気が散って勉強に集中できない。」	13%
	「自分がどんな職業に適しているか分からない。」	13%
5位	「失敗しないかと心配ばかりしている。」	12%

今年も勉強や進学についての悩みが上位を占めました。教育相談・面談は随時行っています。利用してください。*裏面にスクールライフアドバイザー工藤こずえさんのお話があります。

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡ 友だち ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

学校生活を楽しく有意義なものにするために“友だち”の存在は欠かせませんね。

“一人でいるのが楽”これも有りです。みなさんの“友だち”…って？

ともだちって

ともだちって いっしょにかえりたくなるひと。

ともだちって おとうさんやおかあさんにもいえないことをそうだんできるひと。

ともだちって そばにいないときにも いまどうしているかなっておもいだすひと。

ともだちなら

ともだちなら たんじょうびを おぼえていよう。

ともだちなら かりたものは きちんとかえそう。

ともだちなら いやがることを するのはよそう。

ひとりでは

ひとりではもてない おもいものも ふたりならもてる。

ひとりではこわい よるのみちも ふたりであるけばこわくない。

どんなきもちかな

なまはずれにされたら どんなきもちかな。

しっぱいをわらわれたら どんなきもちかな。

ないしょばなしをされたら どんなきもちかな。

やくそくをやぶられたら どんなきもちかな。

けんか

じぶんのいいたいことは はっきりいおう。あいてのいうことは よくきこう。

わるくちはいったっていい でもかげぐちをいうのはよそう。

けんかはしたっていい でもひとりをたくさんでいじめるのは ひきょうだ。

なかなかおりするには けんかとおなじくらいの ゆうきがいる。

だけど わるかったとおもったら「ごめんね」と あやまろう。

ともだちはともだち

すきなものがちがっても ともだちはともだち。

としがちがっても ともだちはともだち。

おかあさんやおとうさんも ときどき ともだちみたい。

にんげんじゃなくても ときには ともだち。

『ともだち』（谷川俊太郎・文 和田誠・絵）より抜粋

友だちが、自分では気付かなかった良い所を言ってくれた。友だちの何気ない言葉で迷っていた進路を決めることができた。来室した卒業生の話です。“安心できる相手を見つける”と同時に自分自身もそうありたいですね。